

2025年9月22日
一般社団法人日本能率協会

建設・インフラ・エネルギー分野の最新技術・ソリューションが札幌に集結

「北海道 建設開発総合展 2025」
「北海道 インフラ検査・維持管理・更新展 2025」
「北海道 災害リスク対策推進展 2025」
「北海道 エネルギー技術革新 EXPO 2025」

2025年10月8日(水)～9日(木)、アクセスサッポロで

一般社団法人日本能率協会（JMA、会長：中村正己）は、2025年10月8日（水）～9日（木）の2日間、アクセスサッポロ（札幌市白石区）で、社会インフラや防災、エネルギー分野に関する最新動向を紹介する4つの専門展示会「北海道 建設開発総合展 2025」「北海道 インフラ検査・維持管理・更新展 2025」「北海道 災害リスク対策推進展 2025」「北海道 エネルギー技術革新 EXPO 2025」を同時開催します。

 **北海道**
 **建設開発総合展 2025****北海道**
インフラ検査・維持管理・更新展 2025 **北海道**
災害リスク
対策推進展 2025**北海道**
エネルギー技術革新 EXPO 2025

現在、建設現場での人材不足や高齢化などの課題が顕著になっています。また、国内のインフラにおいては、構造物の老朽化や、近年増加するゲリラ豪雨、地震・台風などの自然災害への対策が喫緊の課題となっています。

会場内では、ドローン・AI・ロボットによる点検技術、現場作業の省人化に対応する構造物、豪雪・地震等のリスクに備える設備・ソリューションなど、課題解決するための最新技術やサービスなどを紹介します。また、北海道総合開発計画におけるDX・GXや共創の取り組み、持続可能な社会構築における企業経営、建設業界での人材確保などをテーマに17の講演会・セミナーを実施します（同時開催展を含む）。出展者数は**104社/126ブース（4展示会合計）**、来場予定者数は**4,000名**（同時開催展を含む）を見込んでいます。

JMAは本展示会を通じて、構造的および地域的な問題を解決するための情報交流の場を提供し、持続可能な街づくりと建設業の生産性向上を目指します。

※開催概要は4ページをご参照ください。

【 本件に関するお問い合わせ先 】

建設開発総合展/災害リスク対策推進展/インフラ検査・維持管理・更新展 事務局/エネルギー技術革新 EXPO 事務局
一般社団法人日本能率協会 産業振興センター内/TEL: 03-3434-1988（平日 9:00～17:00）E-mail : hafp@jma.or.jp

【 報道関係の方のお問い合わせ先 】

一般社団法人日本能率協会 広報室 担当：植草

E-mail : jmapr@jma.or.jp / TEL : 03-3434-8620

各展示会の概要および見どころ

■各展示会の概要

・北海道 建設開発総合展 2025

社会インフラの老朽化や災害対策、人手不足などの課題に対応し、関係者の商談・情報交流を通じて持続可能な街づくりと建設業の生産性向上を目指す展示会です。

・北海道 インフラ検査・維持管理・更新展 2025

集中豪雨や土砂災害で明らかとなった社会インフラの脆弱性、老朽化対策として、検査・診断・補修・更新技術など、自治体やインフラ管理者向けのソリューションを紹介します。

・北海道 災害リスク対策推進展 2025

自然災害への備えと減災・防災技術を紹介する展示会。集中豪雨、地震、雪害、猛暑など多様な災害リスクに対応する製品・サービスを展示します。

・北海道 エネルギー技術革新 EXPO 2025

カーボンニュートラル社会の実現に向けたエネルギー技術の革新をテーマに、脱炭素・省エネ・再生可能エネルギー関連の最新技術を紹介します。

■主催者講演会・出展者セミナー

講演会・出展者セミナーを、2日間で17セッション開催します。※同時開催展を含む

▽注目の講演会

● 10月8日(水) 10:30~11:15/A-1

「北海道総合開発計画の推進について」

国土交通省 北海道開発局 開発管理部次長 宮藤 秀之氏



第9期北海道総合開発計画(令和6年3月閣議決定)では、「食料安全保障」「観光立国」「ゼロカーボン北海道」といった北海道の強みを最大限に活かして我が国の豊かな暮らしを支えること、そしてその価値を生み出している北海道の「生産空間」の維持・発展、強靱な国土づくりを目標としています。この度の講演では、計画の概要と計画を推進するためのDX・GXや社会資本の戦略的整備、官民連携による共創の取組などについてお話しします。

● 10月9日(木) 11:30~12:15/A-7

「エネルギー・環境ビジネスと経営の未来~持続可能なまちづくりを通じて地域社会を豊かにする新たな動き~」

RAUL 株式会社 代表取締役社長 江田 健二氏



脱炭素化の流れや紛争、自然災害などの影響により、企業にとって安定したエネルギーインフラの確保は重要な課題となっています。本講演では、企業のエネルギーセキュリティやレジリエンス、そして持続可能な社会構築における企業経営の重要性に焦点を当てます。さらに、国内外の先進的な事例を紹介し、自社のビジネスに取り入れられる具体的なアイデアを提供します。

注目の出展（一部抜粋）



管きよ更生工法
(アルファライナーH工法)



TVカメラ遠隔操作部

出展者名:公清企業(ブース番号 510)

出展ゾーン:補修・補強技術

近年多発している下水道管の老朽化による陥没事故を防止するための最新技術である、管きよ更生工法(アルファライナーH工法、インシチュフォーム工法)のモデル展示を行います。実際の施工では地中に埋設されている下水道管などの更生のために直接目で見ることができませんが、本ブースでは実物の更生材料を模擬管内に挿入し、空気圧により拡張して紫外線を照射して更生材料を硬化させる手順を実演します。

最新のTVカメラ調査技術である遠隔操作型のTVカメラ装置にて、操作部をブース内に設置し、TVカメラを千葉県松戸市に設置して、インターネット回線を通じ遠隔操作による操作体験ができます。



ナイアガラカット

出展者名:アルパインクリエイト(ブース番号 306)

出展ゾーン:雪害対策

屋根の雪下ろしは雪国にとって重要な社会問題であり、全国では毎年100人前後の方が亡くなり1000人以上の負傷者が発生しております。また労働安全衛生法の改正により、高所作業において墜落防止措置が義務付けられ、屋根に登って雪下ろしすることが難しくなりました。この課題を解決するため、地上から安全にロープで滝のように雪を落とす「ナイアガラカット」を開発しました。またドローンを併用することにより、高所の雪庇落としも可能としました。



TREND-POINT

TREND-CORE 時間軸を加えた4Dによる施工ステップ表示が可能



TREND-CORE

出展者名:福井コンピュータ(ブース番号 228)

出展ゾーン:サービス・ソフトウェア

建設業界の未来を切り拓く——福井コンピュータの展示ブースでは、最新の建設DXソリューションを実機でご体験いただけます。測量・設計・施工・維持管理まで、現場の課題を解決する多彩な製品群を取り揃え、皆様の業務効率化と品質向上を力強くサポートします。

ブースでは各製品の最新バージョンを用いたデモンストレーションを通じて、実際の業務に即した活用方法をご覧ください。特に、点群処理やBIM/CIM対応の3D設計支援など、現場の生産性向上に直結する機能を実機で体験できるのが大きな魅力です。また、スマートデバイスを活用した現場支援アプリや、クラウド連携による情報共有ツールなど、建設DXを推進する多彩なソリューションもご紹介。

技術の「今」と「これから」をつなぐ場として、皆様の業務改革に役立つヒントが満載です。ぜひこの機会にお立ち寄りいただき、建設業界の未来をご体感ください。



ドローン導通検査装置

点検・補修・調書作成

(インフラドックサービス)

点検コスト・作業時間を大幅圧縮

- ・ドローンでの効率的な画像取得
- ・センサー・ロボット活用
- ・開口なしでの新検箇所特定
- ・現場での補修対応・常駐対応
- ・調書・レポート作成



インフラドックサービス

出展者名:アルビト(ブース番号 401)

出展ゾーン:支援・サービス

アルビト株式会社は、最先端技術を活用し、社会インフラの安全と信頼性を支えるサービスを提供しています。

ドローン導通検査

風力発電設備のブレードや避雷装置における“導通異常”を、非破壊・短時間で検出する独自手法。これまで困難だった高所点検を、安全かつ効率的に実現します。

→ 設備稼働率の向上・事故リスクの低減に直結。

インフラドックサービス

橋梁・建築物・各種プラント設備を対象にした包括的点検ソリューション。高解像度カメラ、赤外線、3D解析を組み合わせ、劣化や損傷を「見える化」します。

→ 点検の省力化・長寿命化計画の最適化に貢献。

開催概要

- ・名称：北海道 建設開発総合展 2025、北海道 インフラ検査・維持管理・更新展 2025、北海道 災害リスク対策推進展 2025、北海道 エネルギー技術革新 EXPO 2025
- ・会期：2025年10月8日(水)～9日(木) 10:00～16:00
- ・会場：アクセスサップ口(札幌市白石区流通センター4-3-55)
- ・後援：経済産業省 北海道経済産業局/国土交通省 北海道運輸局/一般社団法人札幌産業流通振興協会/札幌市/札幌商工会議所/一般社団法人全日本司厨士協会/総務省 北海道総合通信局/北海道/公益社団法人北海道観光振興機構/北海道経済連合会/一般社団法人北海道商工会議所連合会/一般社団法人北海道中小企業家同友会(順不同) ※同時開催展含む
- ・主催：一般社団法人日本能率協会
- ・展示規模：104社/126ブース(4展示会合計)、211社/263ブース(同時開催展含む)
- ・来場予定者数：4,000名 ※予定・同時開催展含む
- ・同時開催展：観光・ホテル・外食企業展 HOKKAIDO 2025
- ・入場方法：完全来場登録制、無料
※公式サイトから来場登録後、来場者バッジを発券し、持参ください。
- ・公式サイト：<https://www.jma.or.jp/toshiken/hkd/index.php>
- ・出展者一覧：下記「WEBガイド」から出展者、出展製品をご覧ください。
<https://www.ult-thunder.jp/hokkaido-exhibition-2025/ja/navi/exhibitor/search>

プレス登録（取材のお申し込み）

取材にあたってはプレス登録が必要です。円滑な入場手続きのため、事前のプレス登録へのご協力をお願いします。

※プレス登録いただいた方には、「プレスバッジ」「取材に際してのお願い」をお渡しします。

事前登録:「取材お申込みフォーム」からご登録ください。 <https://www.jma.or.jp/press/>

『事前登録いただいた際の返信メール』のプリントアウトとお名刺 2 枚をご用意の上、「事務局カウンター」にお越しくください。

※プレス登録は、新聞、雑誌、テレビ、ラジオ、Web 媒体などの取材／編集／報道に関わる方が対象です。報道機関の広告・営業部門、広告代理店、マーケティングリサーチ会社の方はご遠慮いただいております（上記の方は、一般登録でご入場いただけます）。ご理解の程、よろしくお願い申し上げます。

※本展示会では、プレスルームはございません。ご了承ください。

◆講演・セミナーをご取材される際のお願い

取材される場合は、対象者の了解のもと行ってください。

講演に使用された投影パワーポイント、配布資料およびテキストなどの無断転載は固くお断りいたします。

講演内容を掲載する場合は、必ず講演者に許可を得てください。ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。